

みずほCustomer Desk Report 2023/09/11号 (As of 2023/09/08)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	147.02 AUD/USD
TKY 9:00AM	147.33	1.0698	157.55	1.2480	0.6378
SYD-NY High	147.87	1.0744	158.38	1.2514	0.6415
SYD-NY Low	146.60	1.0694	157.03	1.2451	0.6368
NY 5:00 PM	147.84	1.0700	158.18	1.2466	0.6379
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,576.59	75.86	日本2年債	0.0040%	▲0.0060%
NASDAQ	13,761.53	12.69	日本10年債	0.6400%	▲0.0200%
S&P	4,457.49	6.35	米国2年債	4.9875%	0.0353%
日経平均	32,606.84	▲384.24	米国5年債	4.3986%	0.0247%
TOPIX	2,359.02	▲24.36	米国10年債	4.2591%	0.0101%
シカゴ日経先物	32,580.00	▲315.00	独10年債	2.5960%	▲0.0230%
ロンドンFT	7,478.19	36.47	英10年債	4.4195%	▲0.0280%
DAX	15,740.30	21.64	豪10年債	4.0960%	▲0.0740%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	9.10%	▲0.20%
上海総合	3,116.72	▲5.63	USDJPY 3M Vol	9.24%	▲0.06%
NY金	1,942.70	0.20	USDJPY 6M Vol	9.22%	▲0.09%
WTI	87.51	0.64	USDJPY 1M 25RR	▲0.85%	Yen Call Over
CRB指数	284.47	0.70	EURJPY 3M Vol	9.31%	▲0.15%
ドルインデックス	105.09	0.03	EURJPY 6M Vol	9.57%	▲0.07%

【昨日の指標等】

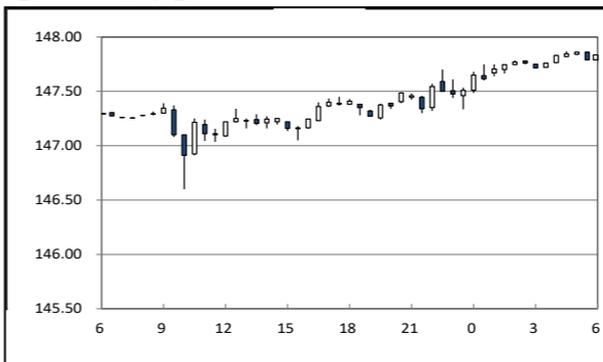
Date	Time	Event	結果	予想
9月8日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	2Q 1.2%	1.4%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	2Q 4.8%	5.6%
9月9日	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	7月 -0.2%	-0.1%
	10:30	中 CPI(前年比)	8月 0.1%	0.1%
	10:30	中 PPI(前年比)	8月 -3.0%	-2.9%

【本日の予定】

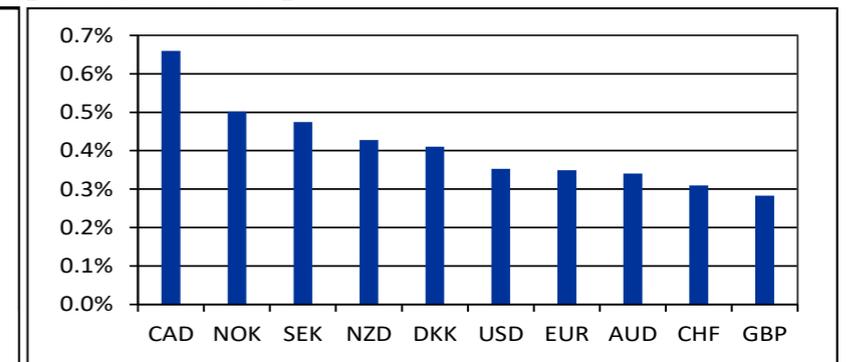
Date	Time	Event	予想	前回

東京	東京時間は147.33レベルでオープン。日経平均の下落に加え、鈴木財務相の「高い緊張感を持って注視し、過度な変動に対してはあらゆる選択肢を排除せず適切な対応を取りたい」との円安牽制発言を受け、146.60まで大きく値を下げた。その後、即座に147円台に戻り、上値が重い展開となった。午後は小幅な動きを続け、結局147.17レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.17レベルでオープン。円売りで始まるも、上値の重い展開。結局、147.45レベルでNYに渡った。欧州株は全体的に好調に推移した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台前半でスタート。東京時間では、鈴木財務相が「過度な変動に対してはあらゆる選択肢を排除せず、適切な対応を取りたい」との見方を示した事を受け、146.60まで下落する。しかし、円買いは長く続かず、欧州時間にかけて147.30付近まで戻す。その後米金利が上昇する動きにつれ高となり、147.45レベルでNYオープン。本日は特段注目の経済指標発表を控えていない中、朝方は米金利が低下している展開が重しとなり、147.30まで値を下げる。その後低下していた米金利が再度上昇している展開を受け、147.75まで買い戻される。午後ドル高の流れがとなり、高値圏での値動きが続く。終盤にかけては高値の147.87を付け、その後147.84レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.06台後半でスタート。1.0710付近を挟んだ値動きが続く。欧州時間では、独8月CPI(確報値)が発表され、予想通りの結果にユーロドルは反応薄。その後、欧州株式市場が軟調な展開が売り材料となり、1.0700レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を受け、1.0744まで戻すも、その後は伸び悩み、1.0711まで反落し、朝方の上昇分を全て無くす。午後は週末を控え、積極的な取引が手控えられる中、1.0700丁度付近での小動きとなり、1.0700レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.60-148.00	1.0600-1.0800	156.80-158.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日は実質5・10日に伴って仲値は不足。ただし、米国政府がファーウェイの新型スマホを調査するとの報道が出て、中国政府が政府機関の職員に対し、iPhoneの使用を禁止したことに対する報復と見られ、株が崩落、ドル/円も実需の買いを打ち返す売りが出た。その後財務相からけん制発言が出たものの、結局ドル/円の下げは一時的なものとなった。
 本日は東京時間は特段のイベントが予定されていない。材料視される本邦当局からの円安けん制発言についてはあったとしても効果は大きくはないというのが先週確認されたところ。ドル人民元の動向に気を付けながら、ドル/円は高値圏の推移で見ておくのが良いのでは。なお、北米時間には米2年国債入札を控える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 田川・鈴木